

緑の取り組み 「カシニワ制度」

柏市都市部公園緑政課

背景

造成されたにも関わらず
使われていない空地



高齢化によって管理でき
なくなる土地が増えている



公園の利用制限、自由に
遊べるスペースの減少



近所づきあいの希薄化

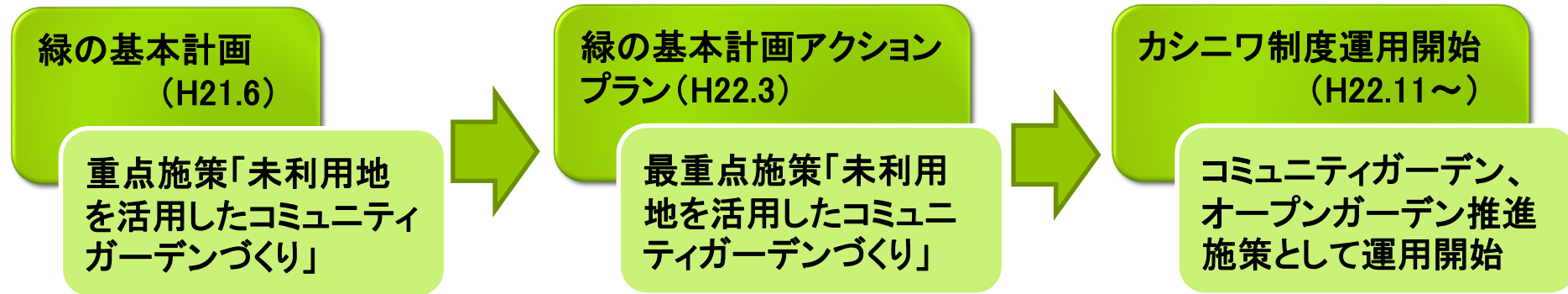
地域貢献活動の高まり

利用されていない土地を
公園を補完する「地域の
庭」として開放し、人々
が交流を深めることの出
来る場や、自主的な取り
組みを行って頂くことで
地域力を高めていく新し
い共有空間が求められて
いる



立案から運用までの経緯

計画での位置づけ



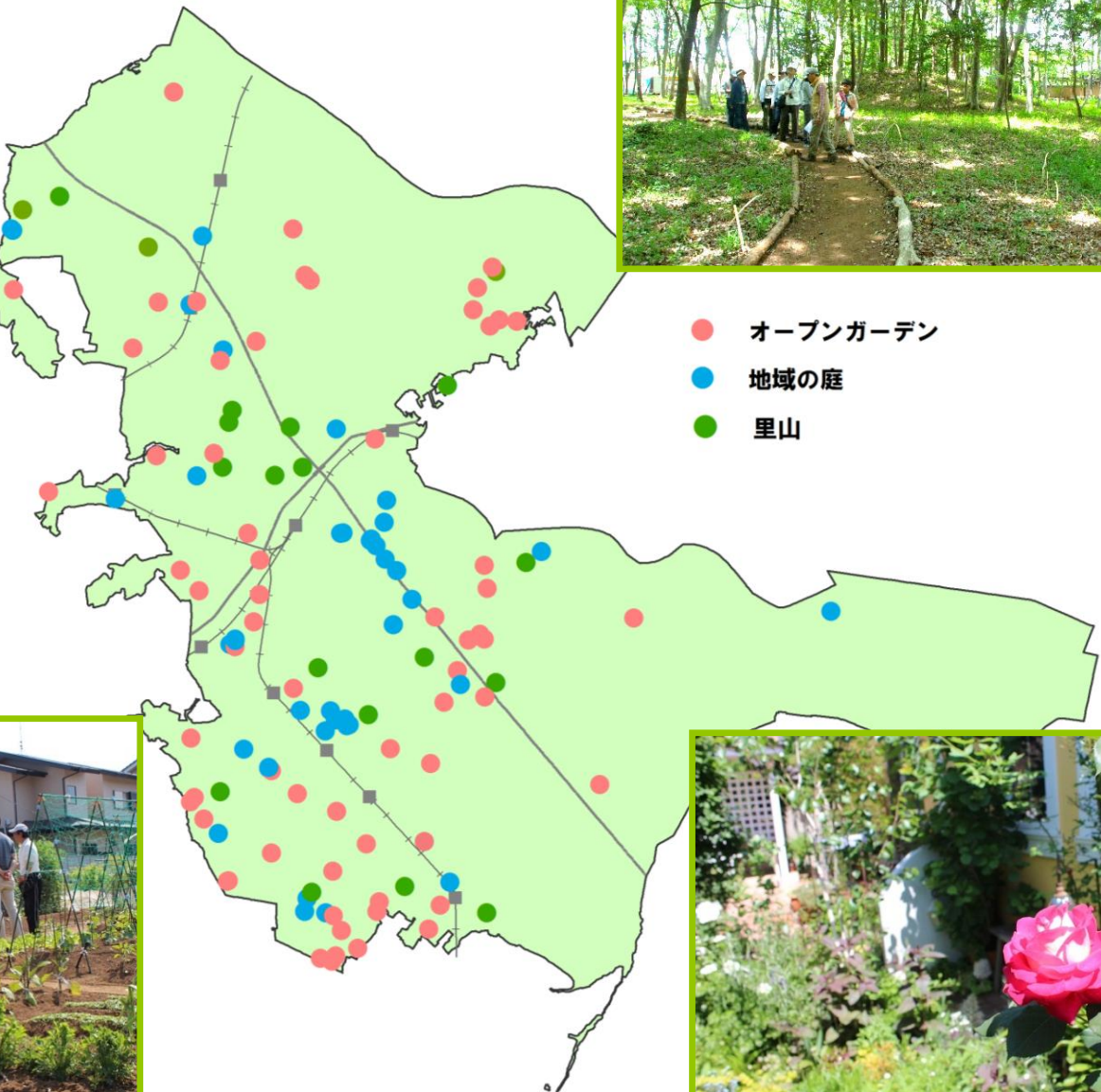
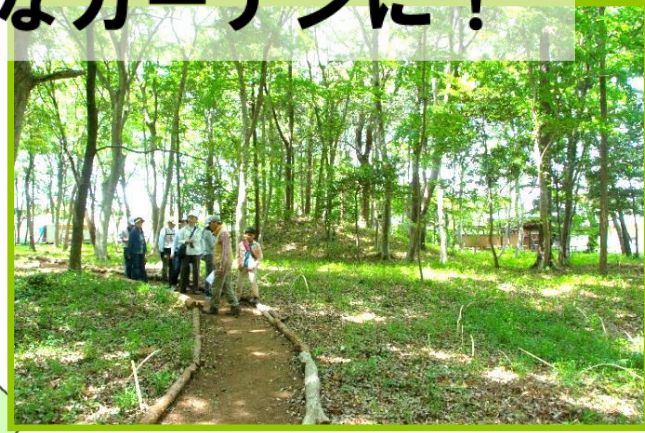
課内での動き

- ・ H21. 8 「(仮称)緑のオープンスペース(オープンガーデン)認定制度」検討開始
- ・ H21. 11 プロジェクトチームの結成
視察(流山市・横浜市・相模原市)
学識経験者等へのヒアリング
各課協議
利用・運用規約づくり
- ・ H22. 6 先行して、市⇔町会での協定締結
- ・ H22. 11 カシニワ制度の運用開始

各種会議での意見収集

- ・ H21. 10. 23 緑の基本計画策定委員会
「オープンスペースプロジェクト」
- ・ H22. 1. 22 緑の基本計画策定市民懇談会
「オープンスペースプロジェクト」
- ・ H22. 3. 24 柏市緑政審議会
「カシニワproject」

カシニワで柏の街をひとつの大きなガーデンに！



- オープンガーデン
- 地域の庭
- 里山



カシニワ制度



市民団体等が管理している花壇や樹林地、広場や、街中のオープンガーデンなどのきれいな緑を、「カシニワ」（＝かしの庭・地域共有の庭）と位置づけ、市や関連組織が様々な支援を行う制度

※カシニワ＝「かしの庭」と「貸す庭」をかけた造語

枠組み－1. カシニワ情報バンク

－貸したい・借りたい・支援したいをつなぐ－

枠組み－2. カシニワ公開

－きれいな場所を「カシニワ」として広く紹介する－

枠組み－3. カシニワ・スタイル

－柏の緑の空間を楽しむイベント＝カシニワ・スタイルを応援する－

枠組みー1. カシニワ情報バンク

柏市



47件

31件

土地情報

荒れてきてしまった林や空き地なども、市民団体等のアイデアと汗で、魅力的なカシニワに生まれ変わります。

66件

団体情報

里山、広場、花畑、菜園。仲間と一緒にカシニワ作りをしたい方たちが登録をします。土地とのお見合いが成立すると、協定を結んで活動開始です。

40件



支援情報

花苗の球根や腐葉土をはじめ、事務用品や「耕運お手伝い」「多世代型コミュニティ作りお手伝い」なども。様々な支援でカシニワの輪が広がっています。

21件

枠組みー2. カシニワ公開



※平成28年1月15日現在

枠組みー3. カシニワ・スタイル

柏市

- ・ 道具や備品の貸し出し
(パラソル・机・イス等)
- ・ 場所のあっせん
- ・ 緑の楽しみ方の事例集
(カシニワレシピ)をHPで公開

関連団体等

- ・ 講師・コーディネーター
- ・ 材料提供
- ・ スタッフ

協力



カシニワ・スタイル
サポート



閲覧・実践

カシニワ・スタイル
登録



キャンドルづくり

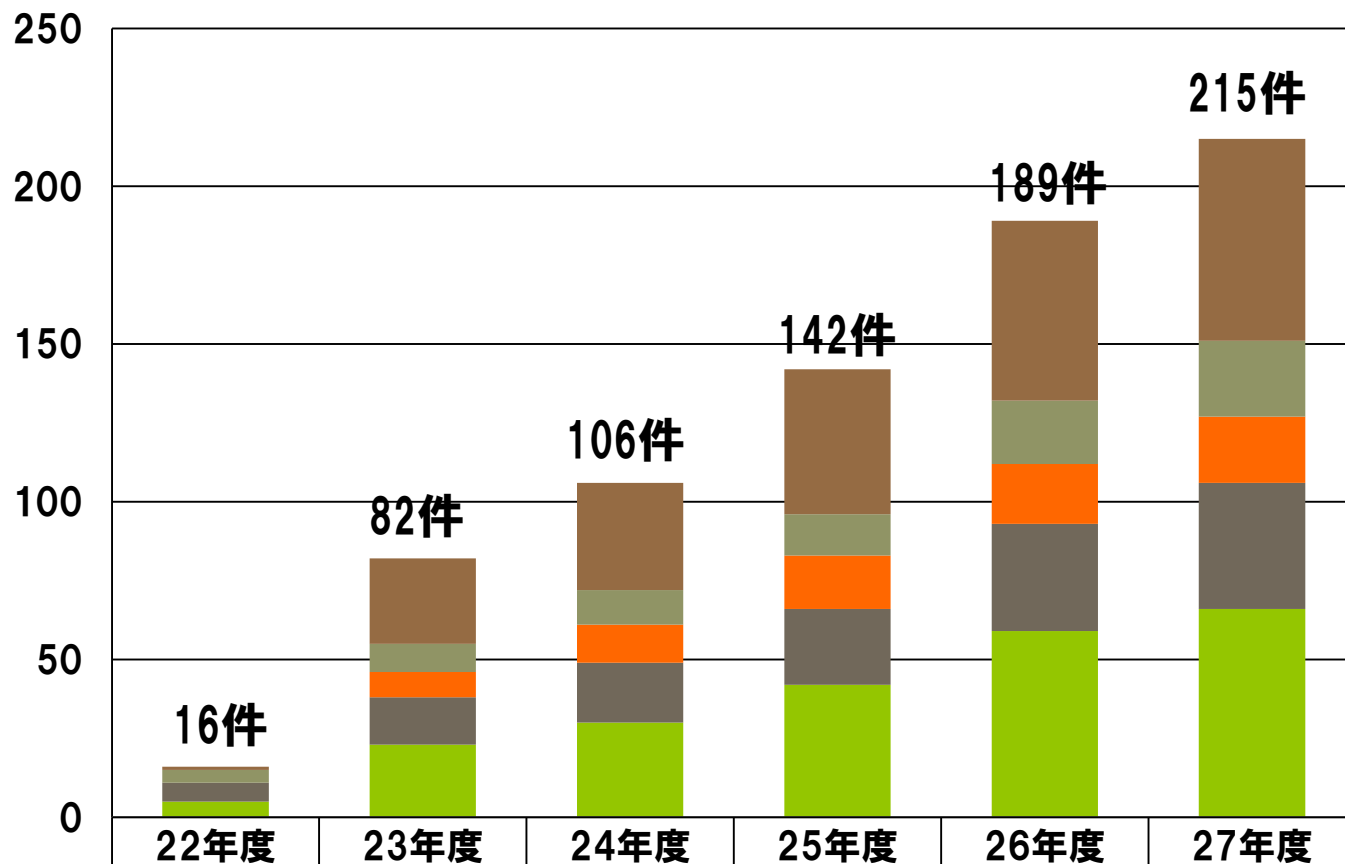


鳥の巣箱づくり



シルクスクリーン

カシニワ登録件数の推移



カシニワ公開 オープンガーデン	1	27	34	46	57	64
カシニワ公開 地域の庭	4	9	11	13	20	24
カシニワ情報バンク 支援情報	0	8	12	17	19	21
カシニワ情報バンク 団体情報	6	15	19	24	34	40
カシニワ情報バンク 土地情報	5	23	30	42	59	66

※平成28年1月15日現在

カシニワ制度活用時のメリット

土地所有者	活動団体（町会・市民団体）
維持管理費用（草刈等）の削減	やりたい緑の活動の実践
ゴミの減少	団体内外でのコミュニティの醸成
景観の向上	景観の向上
地域貢献（市民の憩いの場の創出）	助成金の交付（花苗・堆肥・草刈機等）
団体との交流	看板や支援物資の提供
行政による各種サポート	活動・イベントのPR
賃借料による収入（有償で貸与した場合）	地域貢献（地域美化・市民の憩いの場の創出）
固定資産税の免除・優遇（一定の条件あり） <ul style="list-style-type: none"> ・ 柏市緑を守り育てる条例→緑の保護地区 ・ 柏市税条例→町会等地縁組織が利用した場合 	行政による各種サポート（活動場所探し等）

課題

土地

土地情報登録数の増加

- 空地系土地（宅地・雑種地等）の登録推進
- 土地所有者への制度・効果・メリットの周知
- 活用推進候補地の登録推進

支援

持続的な運営体制

- 多様なサポート主体との連携促進
- 広報・PRの拡大
- 助成金によらない運営体制の構築

より、市民に使われるカシニワ制度へ

団体

質の向上

- 担い手育成
- 登録者間、市民との交流促進
- 緑地形成＋αの価値創出

空地系土地（宅地・雑種地等）の登録推進

- 宅地・雑種地・空家の庭等、固定資産税が比較的高い土地に対する登録メリットの創出
（固定資産税・都市計画税の免除や助成、賃借料による収入等）
- 農地法・生産緑地法等による農地の仲介制限
- 遠方の土地所有者との連絡調整
- 不動産業者が介入している物件

カシニワ+αの価値創出（他主体との連携）

・緑以外の切り口

- ⇒これまで来ることのなかった住民が来る場所に
- ⇒活動に関心を持つきっかけ
- ⇒活動へのサポート・協力

・カシニワ×サービス提供者

- ⇒地域に根付いたコミュニティの場へ

1日カフェ



防災ワークショップ



出張販売



出前保育



カシニワ+αの価値創出（他主体との連携）

農家

- ・野菜市のように消費者と直接顔を合わせて販売したい
- ・若手を中心に農協に入らず独自に販路をつくる傾向
- ・飲食店とつながり販路を拡大したい

柏駅前飲食店

- ・柏産の野菜を仕入れたいが近くに購入できる場所がない
- ・柏産の野菜の情報や知識を得たい

地域住民

- ・新鮮な野菜への関心や需要は高い

野菜市(週1回)の実施

- 【効果】
- ・草刈り等の簡単な管理は農家により可能
- 【課題】
- ・地域住民&飲食店が消費者としてだけでなく、管理運営に協力者として参加する流れをつくりたい



空き家の庭活用（空き家管理のツールとして）

活動団体：

まずは庭のみ利用

⇒ 活動の継続・拡大

⇒ 屋内空間の必要性(トイレ、物置etc)

⇒ 空き家活用？

所有者：

まずは庭のみ貸借(低いハードルから)

⇒ 活動の理解・協力

⇒ 屋内空間の利用への理解が進む？

【効果】

・防犯性の向上：

人が出入りし管理していることが空間に表われる

・安全性の向上：

安全な歩行空間等の確保

・コミュニティの場の創出

【課題】

・建物の一部利用

・建物の内部活用

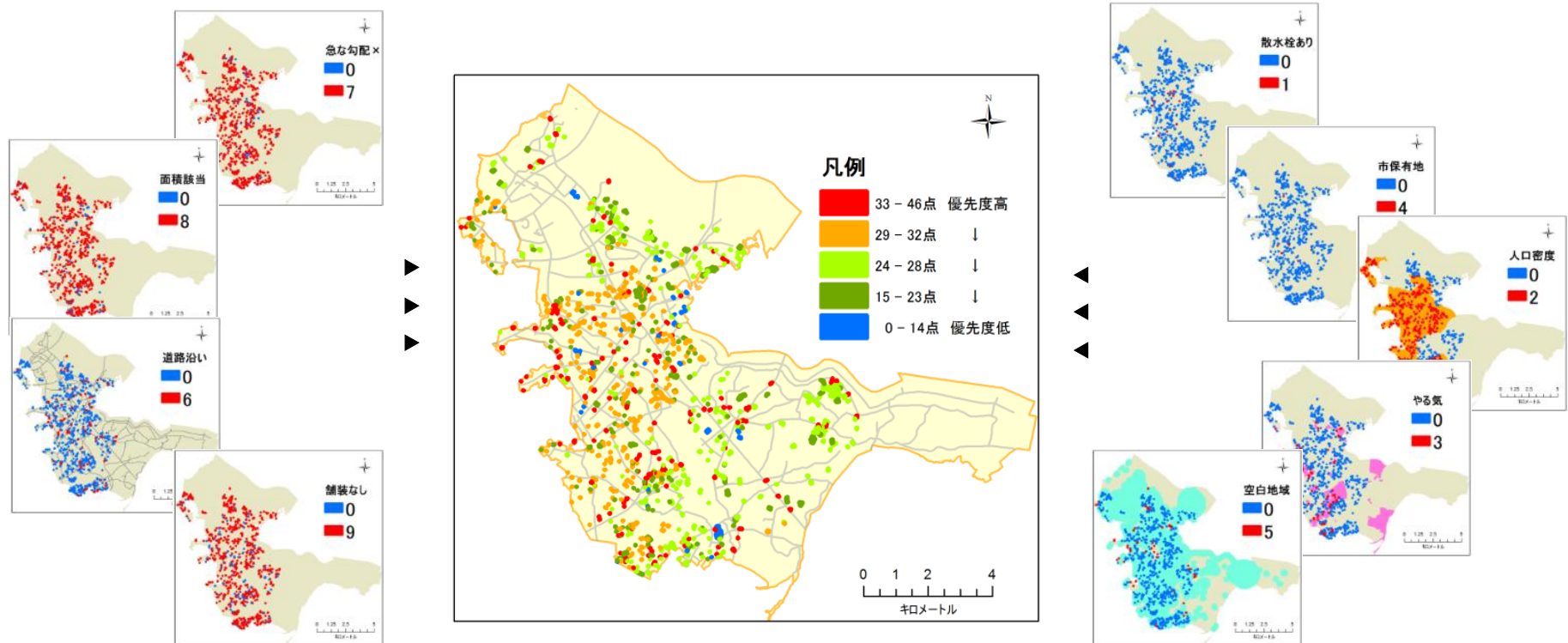
⇒改修費・電気代・水道代の負担の所在



低未利用地の把握・評価

市内の低未利用地を現地調査により把握・分析し、カシニワ登録の優先順位づけ

- 作業のしやすさ(舗装・散水栓の有無、面積、勾配)
 - 意欲(主要道路沿い、やる気のある町会の有無)
 - 必要性(緑のオープンスペースの空白地域、人口密度)など
- ⇒ GISで上記指標を重ね合わせて優先順位づけ



カシニワ制度のこれから

【より市民に使われる制度へ】

- ・ 地域に応じたコミュニティスペースとしての役割
 - ⇒ 小さなマーケットの創出
- ・ 「緑」を楽しむ文化の発信・土台形成
 - ⇒ 広報戦略（SNS等の活用）
- ・ 地域の課題解決への貢献 e x. 空き家問題、農地保全、防災、防犯
 - ⇒ 空き家の庭の活用、耕作放棄地の活用、農業との連携
空き地・空き家の短期活用

【空閑地の活用による都市空間の再編】

- ・ 都市再編の一つの手法としての空閑地の活用
- ・ 柏市をモデルとした、他都市への展開&提言